
宇宙に ‘ 果て ’ はあるか

おっさん 4 1

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

宇宙に「果て」はあるか

【Nコード】

N5333L

【作者名】

おっさん41

【あらすじ】

誰でも一度は疑問に思う、宇宙の果て、というクエスチョン。自分なりに考えをまとめてみた。個人的には宇宙の果てがあつて欲しいと思っている。壁、行き止まりなどの言葉では表現できない新たな概念が生まれるだろうと思うとワクワクするので。

宇宙に果てはあるのだろうか？

科学的なことは分からないけど、自分は宇宙に「果て」はないと思う。

果てがあつたとして、そこには先に進むことの出来ない壁があることになる。

ここで考えて欲しい。壁とは何だろうか？

たとえば、一つの水槽の中に、魚が一匹泳いでいたとする。水槽のちょうど真ん中に壁を置くと、泳いでいる魚に壁の向こう側の世界は見えないが、確かに壁の向こう側には空間が存在することになる。

壁とは、ある空間を複数の空間に分けるもの。ちょうど屋内、屋外と名前をつけてビルの壁たちが空間を切り取っているように。

同じことが宇宙に関しても言えはしないだろうか。「壁がある以上、その向こうにはまだ何か広がっている」と。

突き詰めていけば、宇宙に壁があつたとしても、その向こう側には違う空間が広がっている、だから宇宙には果てがない、そういうことになると思う。

(後書き)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5333l/>

宇宙に‘果て’はあるか

2011年1月27日12時03分発行